

新年あけましておめでとうございます

# 人間らしい労働と生活の実現を!



## 労働者の働きがいと地域社会への貢献が誇れる企業に

# はぐるま

日本共産党  
川崎重工委員会

困ったときはお気軽にご相談ください

内容は口外しません

TEL : 341-3235

FAX : 341-3236

メールアドレス

spum69u9@pony.ocn.ne.jp

ご意見や投稿などもお寄せください

ホームページ <http://www.jcp-kawajyu.jp/>

携帯サイト <http://>



昨年は、民主党政権の「自民党返り」ともいうべき様相がいつそう明白になりました。

私たちは日本共産党は、国民の暮らし最優先の経済政策と憲法9条を生かした自主・自立の平和外交への根本的な転換をはかり、「国民こそ主人公」の新しい日本をめざして奮闘します。

職場の問題では、引き続き人間らしく働き、人間らしく生活できる職場の実現をめざして奮闘します。

いま、完全失業率は5%以上の高止まり、新卒者の就職難は“超氷河期”と言われ、雇用危機が大きな社会問題となっています。

その根本には、長年にわたって賃金が減りつづけた（民間企業で12年間に62万円以上）、主要7カ国の

なかで、日本だけが「国民が貧しくなった国」という問題があります。これが国内需要を減少させ、日本経済の危機をさらに深刻にしています。

一方、大企業の内部留保は244兆円までに激増し、上場企業の手元資金は1年前より7兆円も膨らみ、「空前の金あまり」状態となっています。

この大企業の過剰な内部留保と利益を労働者と中小企業に還元し、人間らしい労働と生活に改善していくことが大きな社会的要請となっています。それは、内需を高め、日本社会と経済の健全な発展への道を開くことになるでしょう。

ILO99年総会で掲げられたディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい）

【2頁へ続く】

### 大河

100年以上の歴史をもつ三菱重工の神戸造船所が、来年6月末をめどに商船建造から撤退すると表明しました。

神戸造船所と取引のある13%の下請業者が「経営が維持できない」、28%が「規模の縮小が必要」と答えています。すそ野の広い地域産業だけに、その影響は甚大です。

撤退の理由は、「確実な利益を上げていく体質を作り上げる」ためとされていますが、より儲けの大きい原子力と潜水艦へのシフトが狙いでしょう。兵庫県内では、アサヒビールや森永製菓、雪印も次々と閉鎖を表明しています。

いま、大企業の社会的責任とは何かが、厳しく問われています。いまこそ、大企業の身勝手な行動を許さないたたかいに立ちあがるときではないでしょうか。

雇用と暮らしを守るたがいは、「人間らしい労働」を回復させるとともに、人々の結びつきを深め、町も活性化させるでしょう。そして、子供たちに夢と希望を与えるでしょう。

【1頁より】  
 しい仕事)の実現という目標は、その後、「すべての国家の持続可能な経済成長および発展の達成に不可欠」であると確認され、いまや世界で大きな流れにもなっています。

川崎重工は、「CSR報告書」で「働きがいのある職場づくり」や「安全で快適な職場環境」を築くことなどを表明しています。

しかしながら、労働者の労働と生活の実態は、非人間的な「派遣切り」や脱法的な「クーリング期間」の悪用、下請け業者の単価切り下げ、サービス残業の横行と長時間残業の日常化、高齢者の大幅な賃金カットと女性の賃金差別、メンタルヘルス障害と労働災害の頻発など、「CSR報告書」でうたわれている内容とは大きくかけ離れたものとなっています。

私たちは、これらの問題を一つひとつ解決しながら、労働者の働きがいと地域社会への貢献という点で、大いに誇れる会社になるように働きかけていきます。

読者の広場



「はぐるま」への期待の一言

私は、比較的保守寄りの思想を持っていますが、かねてより貴党の一本筋の通った主張、行動には感銘を受けていました。これからも、手段と目的を取り違えることなく、貴党の信じる理想を追求してください。(男性・30代派遣社員)

いと思います。労働者のみなさん、ともに頑張りましょう。

最後にみなさんがご家族ともどもこの一年を健康に過ごされることを祈念して、新年のご挨拶といたします。



「国際競争力をつけよ」の号令のもとで「派遣労働者」を増やし、過密労働が強いられてきました。今年こそ人間らしく誇りをもって働ける職場にしてほしいものです。「誇りを持って働ける会社」、これこそ最大の「国際競争力」の強化です。そのためにも「はぐるま」の活躍に期待します。

(男性・50代)

「はぐるま」の「大河」は、毎号考えさせられ、励まされ、元気をもらっています。楽しみにしています。

(男性・60代再雇用者)

派遣切りや超氷河期の就職戦線など、未来どころか現在もどちらを向いているか分からない昨今、皆が正社員で安定した生活が出来るなら、仕事に誇りを持って働けます。

「はぐるま」がその先頭にたつて、大きく旗を振って頂ける事を期待しています。(女性・50代)

2011年春闘 正規も非正規も、すべての労働者が残業なしで生活できる賃金を!

大企業は「空前の金あまり」状態ですが、労働者の賃金はこの二年間で、23.7万円も減っています。連合は、ベア要求の見送りを早々と決めており、川重労組もそれにならおうとしています。

しかし、減りつづけた賃金を取り戻すことなしに、労働者の暮らしも日本経済もよくなりません。いまこそ、労働組合が先頭に立って、正規も非正規も、すべての労働者が残業なしで生活できる賃金をめざし、賃上げのたたかいに取り組むべきではないでしょうか。

「雇用は正社員が当たり前のルールある経済社会を目指されていることに賛成です。ますますのご活躍を祈っています。

(女性・50代派遣社員)



【いっせい地方選挙】

いよいよ3カ月後に迫りました。今年度の選挙は、住民の暮らしと地域経済をどうやって立て直し、地方自治を拡充するかが、大きな焦点となっています。

<日本共産党議員団の3つの値打ち>

住民の利益第一を貫く立場で、①住民の声と願いを行政と議会に届ける、②建設的な提案で行政と議会を動かす、③住民目線でのチェック機能を発揮し、無駄遣いをなくし清潔・公正な政治を求める。

今後、この「3つの値打ち」をさらに発揮し、「地方主権改革」の名による住民の暮らしと福祉、地方自治の破壊を許さず、憲法の精神にたった地方自治の拡充の旗を高く掲げてたたかいます。